

4月23日は「子ども読書の日」でした

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。家庭、地域、学校などでの読書活動を進めるため、4月23日を「子ども読書の日」と2001年に定められました。

また、子どもたちにもっと本を!との願いから、「こどもの読書週間」が、1959年(昭和34年)にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日~14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)~5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さんなどでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。

本校では、毎朝の活動で読書に取り組んでいます。読解力や想像力を【子ども読書の日の掲示物】つけるためにも、読書はとても大切だと考えます。また、毎月1回、読書ボランティアの方々に来ていただき、絵本の読み聞かせを行っています。子どもたちもとても楽しみにしています。

小郡市では、2011年から毎年、市立図書館と学校給食が協力して、物語に登場する料理(ものがたりレシピ)を給食に取り入れています。

23日の給食では、絵本「ひみつのカレーライス」に出てくる「カレーライス」が出されました。

絵本を読み進めるとページからカレーのにおいを感じそうな、お腹が空く1冊です。子どもたちが大好きな「カレー」が出され、みんなで「わいわい」おいしくいただきました。

小郡市長、あいさつ運動で来校

4月21日、小郡市長さんがあいさつ運動で来校されました。

子どもたちは気持ちのよいあいさつを交わしています。子どもたちの中には、立ち止まって挨拶する子、自分から先に「おはようございます」と言ってくれる子と、挨拶が上手な子がたくさんいます。

その度に、「元気な挨拶をありがとう」と市長さんが声をかけられます。

「昨年よりも、あいさつが上手にできる子が増えましたね。」とほめていただきました。

にこっと目でほほ笑んで、昇降口に向かう子どもたちです。



【給食室前の掲示板】

【ものがたりレシピの給食】

【市長さんに元気なあいさつ】

